

25春闘 賃上げ・人員増・働きやすい職場環境 職場でつながり、仲間増やし、要求にあわせて活動を!



第577号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二

(組合員の購読料は組合員
のなかには含まれていません)

日 程

- 【2月】
28 内子町職学習会・懇親会
- 【3月】
1 本部都市職・町村職部会
合同全国交流集会(～2)
3・1ビキニデー
2 保育部会幹事会
4 全労連四国地区協議会・
四国総行動(高松)
6 中央行動・四国ブロック
総務省要請
7 愛媛労連西予病院問題省
庁要請
8 県本部拡大執行委員会
国際女性デー
9 東予ブロック春闘決起集
会(西条)／南予ブロック
春闘決起集会(内子)
11 反核へんろ愛媛(松山)
13 福島原発事故14年目集会・
デモ(城山公園)
13 全国統一行動・自治労連
統一行動日
18 伊方原発運転差止訴訟
松山地裁判決
26 県公務員共闘会議県・県
教委要請

住み続けられる地域へ。住民のための仕事を

県本部は2月8日「2025中央委員会」を開催し17単組37人が参加(Web併用)。執行部が「24秋季年末闘争の経過」「中間決算」「25春闘」の報告・議論が承認されました。

【青年部】12月7～8日ドクシヤムで西予市の豪雨災害に学び災害意識向上と単組の交流を深められた。反核へんろ、夏に新採歓迎企画、秋に四プロ交流企画を検討中。

【現業評・今治】11月9日現業評四プロ学習交流集会で「現業賃金のアップデート」を学習。12月26日県教委の学校給食担当課へ要請。今治市職は

「組合説明会&新入職員向けサポーターセミナー」などを実施。バレーボール四国大会開催要望あり。

【今治水道】技術職の人材確保が課題。11月市労連交渉でも要求したが理事者側とかなりの温度差を感じた。水道PRイベントとしてJ3会場水道ブースを出展、2回で約350組が訪問。中央行動参加が役員づくりにもなり参加させたい。

【宇和島】積極的に新採勧誘活動、交流活動や学習会等を行っている。11月団体交渉でカスハラ対応の名札表記変更、通話録音導入など求めた。

【伊予】活動のモットーはボトムアップ方式。職場懇談会で各職場の声を拾うとくみが組合活動の原点と理解され、貴重

な要望・提案を得た。若年世代ではワークライフバランスの確保の声が強。青年部は毎月1・2回活動し、組合員である楽しさなど考える機会を積極的に作っている。

【内子】組合要求で改善したことを宣伝し会計年度職員にチラシ配布。学習交流会実施し半歩前進、今後もアプローチする。

【西予】市立病院等の指定管理移行が来年度からと決定し準備が一方的。強硬的に進められている。この2年間支援も受けて組合一丸で闘ってきた。職員の雇用継続と雇用確保、生活と将来不安の解消、職員確保などを軸に交渉重ね、わずかが保障引き上げなどの回答を得た。1月医療介護支部臨時大会で4月以降の組

合について自治労連に継続加盟しての運営を決定。【西条】夏休が今年度から期間6～10月の5日に改善。病気休暇改善は長年の組合要求が実現し、90日以降、特例で人工透析や抗がん剤治療は通算カウントしないとされた。粘り強い交渉の重要性を再認識した。労働組合はどんな時代も必要だ。

【新居浜】11月団交は副市長参加でわずか10分。市長出席を求め、2月は市長が参加し人員配置、職場環境、休暇制度要求など伝えたが、市長からの発言なく前向き返答もなし。男女年代別懇談会、青年部バスツアー、100人規模のいちご狩り、愛珍会など多彩なイベントを開催。組合員増には新採職員に魅力的イベントや直接的メリットの提供が重要。前例踏襲ではなく、要求内容や組合活動も時代に合わせ、県本部中心に単組一体で協力したとくみが不可欠。

【非正規公共・新居浜文体】新居浜市は財政難と繰り返し、事務協議では来年度の給料に人働を反映するが4月遡及はなし。今後も物価や人件費、人



【西予】市職・医療介護体交渉、議員懇談・訪問、職員アンケートなど様々なとくみをすすめる。この間の活動で組合の重要性を感じてきた「など開会あいさつ。議案として、自治労連県本部へ継続加盟して活動を継続します。4月から労働条件改善目的の交渉は地域医療振興協会と行います。必要に応じて西予市への要求活動も行い、西予市職労と連携しサポーターも受けながら、お互いの組織運営を安定させていきます。3月中旬「第1回大会」を行い、活動をスタートさせます。

心理的安全性を高め、ケアしあえる 職場・組織で目的実現めざそう

2月8日午前中、県本部「労働安全衛生学習会」にweb参加含め14単組26人が参加。講師の長久啓太さん(岡山県労働者学習協会)が「心理的安全性を高め、働き続けられる職場に①心理的安全性とは?知識編、②心理的安全性を高める」という信念が共通されている状態。組織内で自分の考えや気持ちを誰に對しても安心して発言できる状態。◎心理的安全性がある効果・効用:組織や運動が常に多様な意見を取り入れ変わっていく。安心して意見をぶつけあえるので新しい視点が生み出される。チームの目的実現力が高まり、恐れず挑戦・成長できる。◎職場・組織のチェックポイント12項目:指摘しあえる職場・組織になっているか。◎心理的安全性を高めるために:○まずはあいさつから。○雑談の役割。○話しかけられやすい人になる。否定からではなく肯定から。○会議を変える、議題から入らない。グループサイズを変える。○若い世代への姿勢:ステレオタイプで見ない。○ケアのある職場・組織づくり:ケアII相手に関心を向ける。団結・連帯の本質は相手への関心とケア。

【西予】『西予医療介護職員労働組合』に 【西予】移行し、要求活動を継続!

西予市職労・医療介護支部は1月28日「臨時大会」を開催し、支部組合員27人、市職労と県本部7人が参加。福島支部長が「市長の民営化提案から2年近く、学習会、団体交渉、議員懇談・訪問、職員アンケートなど様々なとくみをすすめる。この間の活動で組合の重要性を感じてきた」など開会あいさつ。議案として、自治労連県本部へ継続加盟して活動を継続します。4月から労働条件改善目的の交渉は地域医療振興協会と行います。必要に応じて西予市への要求活動も行い、西予市職労と連携しサポーターも受けながら、お互いの組織運営を安定させていきます。3月中旬「第1回大会」を行い、活動をスタートさせます。





【新居浜】毎年楽しみ「いちご祭り」

新居浜市職労は1月18日、婦人部いちご狩りを西条市にて開催。大人102人・子ども57人の合計159人が参加。参加者から「子どもが毎年楽しみにしていて今年もいっぱい食べて満足そうでした」「やっぱりみんなで行くと楽しいね」など、感想がありました。

【子】好評のスキースノーボード体験

内子町職は2月1日「スキー・スノーボード体験会」をソルファオダ・スキーグレンデで開催し、20人が参加。2年前に同じ企画を実施したところ、大好評だったため、再びスキー・スノーボードを行うこととなりました。雪が降り積もる絶好のスキー日和の中、インストラクター



【伊予】「晩ご飯・無印カレー食べ比べ」

伊予市職労青年部は1月22日「カレーの日」に「晩ご飯企画・無印良品カレー」を開催し、新採職員を含む合計11人が参加。温かい雰囲気の中で、楽しいひとときを過ごしました。普段なかなか食べる機会のない「無印良品のカレー」を6種類用意。ハロウィン企画の際に部員投票で選ばれたカ



【現業評】安全・安心・豊かな学校給食 給食調理員が県教委要請

県本部現業評議会は12月26日、県教育委員会「学校給食担当課要請」を行い、3単組3人が参加。「教育の一環として安全で豊かな学校給食を求める要請書」を提出し、調理場の現状を伝え、改善を求めました。まず、県本部現業部会（調理員）の基本要である「県と



してよりよい学校給食を実施するために、保護者、教職員、各校栄養士、調理員との連携、懇談を大切にしながら学校給食事業を実施してほしい」について、「県としても同じ思いである」ことを確認。具体的な各自自治体の問題について要望。最後に「引き続き県下の学校給食の水準の向上へ県教委の力を発揮してほしい」ことを伝え、要請・懇談を終えました。

【四国中央】スキー・スノーボード 日帰り親睦旅行で交流

四国中央市職労は1月25日「だいせんホワイトリゾート」へのスキー・スノーボード親睦旅行に11人が参加。「当日は、天気も良く日頃の仕事の疲れも忘れて、1日を楽しく過ごせました。ありがとうございました」



すべての労働者の賃上げ 公共の再生・拡充を！ 対話と学びあいを！

1月25日、愛媛労連の「中央委員会」に40人（自治労連関係10人）が参加。「活動経過」「中間決算」「会計監査」を報告し「春闘方針案」を提案しました。討論で9人が発言。自治労連西予市職労の安部田委員長は「市長の突然の病院等民



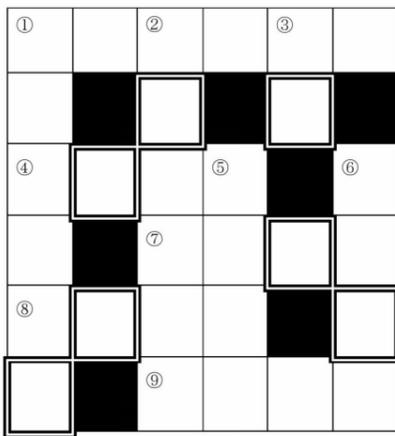
マス目を埋め、二重枠の7文字で「べらぼう」のある人物にしてください。

【ヨコのカギ】

- ①一家の家族や使用人の人数が多いこと
- ④（英語）箱
- ⑦動物体の温度
- ⑧するめをあぶり焼きし、細く裂いた食品
- ⑨現代に近い時代。〇〇〇〇都市

【タテのカギ】

- ①俗に職場で、特に同性の同僚に対して力をもっている女性のこと
- ②感染症まん延防止のために出勤・登校停止し家で
- ③（英語）付け札。荷札や商品の値札など
- ⑤水を通す管。送〇〇〇〇
- ⑥仮縫いに対して、仕上げるために縫うこと



出題者 堀川孝行

■575号のパズルの答えは「ミカラデタサビ」（身から出た錆）でした。正解は9通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。（敬称略）

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。【送先】自治労連愛媛県本部バズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載【締切り】3月27日【発表】579号（4月号）

おたより ありがとう

■少しづつ暖かい日があったりするけど、寒い日もあり、体調管理が必要。家族の体調を気遣う日が多く、気を遣います。（伊予・岡本）

■コロナウイルス感染症の予防接種ですが、無料の接種でもだんだん回数が増すと減ったの、負担金が大きいと接種しなくてもできない現実。もう少しワクチン自体が安くなれば良いなあーと、思う今日この頃。（西予・芝）

■シレネ。ここ何年か種から育てているお花。芽が出てやっとう苗の状態になった。先日新居浜にも雪が降り、心配になり見に行ったら、他の植物は雪をかぶっていたのにシレネの苗の周りだけ雪が解けていた。この寒さの中、必死で頑張っている姿を見て泣きそうになりました。私も頑張ろう。（新居浜社協・久保田）

■クロスワードをきつかに広報誌を読むようになりました。物価高で生活はなかなか豊かにはありませんが、組合の活動に期待しています。（新居浜・吉田）